

(様式4)

令和4年度「静岡県オリパラレガシー教育推進事業」

事業実施報告書

学校名 沼津市立第一小学校

担当者名 井原 正則

<コース>

A クラブチーム選手及びスタッフ指導者派遣

B オリンピアン・パラリンピアン等講演会及び交流会

1 選択コース	A ・ B
2 実施日	令和4年11月30日
3 実施対象者 (学年・人数 等)	4年生 1組25人 2組24人 計49人
4 取組内容	<p>講師：渥美万奈氏（東京五輪ソフトボール金メダリスト） 実技指導（ボール投げ）</p> <p>1クラス45分の実技指導を実施した。ボールを投げる際のポイントを一つずつ押さえ、少しずつレベルを上げながらおこなっていただいた。</p>  

講演会

演題を「夢を叶えるまで ～その先にあるもの～」として、オリンピックで金メダルを獲得するまでの自身の経験をもとに、「大きな目標と小さな目標を持つ」「たくさん挑戦し失敗することで新たな発見がある」「出会いを大切にする」「感謝を伝える」など、お話しいただいた。



児童はメモを取りながら真剣に話を聞くことができた。



<p>5 取組成果 課題 反省等</p>	<p>成果</p> <p>本校児童は投力に課題が見られ、その個人差も大きい。今回の実技指導により、投げることを苦手と感じている児童も、分かりやすくポイントを一つ一つ押さえてもらうことで、少しずつではあるものの、遠くに投げられるようになった実感をもつことができた。また、得意な児童も渥美氏の投力を目の当たりにして、少しでも近づこうと意欲的に取り組んでいた。</p> <p>講演では、夢をもつことの大切さが児童に伝わったと感じている。また、経験から来る話の内容には説得力があり、夢を叶えるために大事にしたいことを児童は十分に感じ取ることができた。</p> <p>課題</p> <p>できればより多くの児童に経験してもらいたかったが、感染症対策のため、1つの学年に絞っての実施となった。人数が増えても対応できるように、サポートスタッフも含めて依頼できるとよいと思う。</p>
<p>7 県教委への 要望や意見</p>	<p>児童にとってなかなか経験することのできない貴重な体験であるので、ぜひ今後もこのような事業を続けていただきたい。</p>
<p>8 事後アンケート</p>	<p>以下の問いについて該当するものに○</p> <p>(1) 児童生徒のスポーツへの興味・関心が高まったと感じる 大いに感じる ・ 感じる ・ あまり感じない ・ 全く感じない</p> <p>(2) 児童生徒の体力が高まったと感じる 大いに感じる ・ 感じる ・ あまり感じない ・ 全く感じない</p> <p>(3) 来年度もこの事業を活用したいと感じる 大いに感じる ・ 感じる ・ あまり感じない ・ 全く感じない</p>